付録

別売り品について

商品名	型名	備考
ACアダプター	AC-3	家庭用コンセントから直接電源を供給するときに使います。→P.24「コンセントで使う」
リチウムイオン電池	DB-20	カメラ本体のバッテリーです。
リモートコントローラー	DR-3	遠隔操作による記録・再生が行えます。
パソコン接続キット （Windows/Macintosh用）	PK-7	パソコンとのファイル転送やカメラコントロールができます。 ＜同梱内容＞ ・Windows/Macintoshソフトウェア ・RS232Cケーブル ・Macintosh変換アダプター ・USBケーブル （Windows98プレインストール/MacOS8.5〜9対応）
スマートメディア		薄さ0.76mm、切手とほぼ同じサイズの記録メディアです。
4M	FS-4	最大約19枚記録可能（1024Nモード時）。
8M	FS-8	最大約39枚記録可能（1024Nモード時）。
16M	FS-16	最大約76枚記録可能（1024Nモード時）。
32M	FS-32	最大約153枚記録可能（1024Nモード時）。
64M	FS-64	最大約614枚記録可能（1024Nモード時）。
PCカードアダプター	FS-B53	スマートメディアをパソコンのPCカードスロットに直接セットできるカードアダプターです。
フロッピーディスクアダプター	FS-B10	スマートメディアをパソコンのフロッピーディスクドライブに直接セットできるフロッピーディスクアダプターです。

・Microsoft、MS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

・Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。

・Smart Media™は株式会社東芝の商標です。

・会社名、および製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

使用上のご注意

●このカメラは防水ではありません。水、雨、飲み物などがかからないよう十分に注意してください。水滴がかかったと思われるときは、リコー修理受付センターにご相談ください。
●カメラを落としたり、衝撃を与えないよう十分に注意してください。
●フラッシュを連続して発光させると発光部が熱くなりますので、必要以上に連続してフラッシュを発光させないでください。
●ファインダーから直接太陽や強い光を見ないでください。
●視力障害の原因にもなりますので、乳幼児の目の近くでフラッシュを発光させないでください。
●事故を起こす原因にもなりますので、運転者などに向かってフラッシュを発光しないでください。
●砂浜やホコリの多いところ（工事現場等）では、砂やホコリがカメラにつかないよう十分に注意してください。
●密閉した自動車の中や海辺、浴室など、異常に温度の上がるところや湿度の高いところにカメラを長時間放置しないでください。
● ACアダプター（別売り）は、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。
●液晶モニターや液晶パネルには、一部に常時点灯、あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。また、液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。
●カードカバーや端子カバー、および電池ぶたを無理に引っぱらないでください。
●液晶モニターやカードカバー、端子カバー、および電池ぶたを持ってカメラを持ち上げないでください。
●液晶モニターを無理に開いたり、回転させたりしないでください。
●カメラを持ち運ぶときは、レンズや液晶モニターをぶつけないよう十分に注意してください。また、液晶モニターは閉じて持ち運びしてください。
●温度変化の激しいところでは、ボディーやレンズの内外に水滴が生じる結露という現象が発生し、作動不良などを起こすことがあります。このようなときは、一度カメラをビニール袋かバッグに入れ、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから取り出すようにしてください。

結露は次のようなときに発生します

・本機を寒いところから急に暖かいところに移動したとき
・湿気の多いとき
・暖房した直後の部屋や、エアコンなどの冷房が直接あたるとき

お手入れと保管についてのご注意

■お手入れ

●レンズやAFファインダー窓に指紋や汚れがつくと、画質が悪くなることがありますので、ご注意ください。
●レンズやAFファインダー窓にゴミや汚れがついたときは、直接手を触れず市販のブロアーで吹き飛ばすか、柔らかい布で軽くふき取ってください。
●海辺や薬品を使う場所で使用したあとは、特に入念にふいてください。
●万一カメラの具合が悪いときは、リコー修理受付センターにご相談ください。このカメラには高電圧回路があります。危険ですから絶対にご自分で分解しないでください。
●シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
●液晶モニターや液晶パネルの表面は、傷つきやすいので、かたい物でこすったりしないでください。
●液晶モニターや液晶パネルの表面は、薄めた中性洗剤を柔らかい布にひたし、かたく絞ってから拭き取り、乾いた布で水分を拭き取ってください。
※バッテリーやACアダプターを取り外して、お手入れしてください。

■保管について

次のような場所での保管は、カメラの故障の原因になりますので避けてください。
●高温多湿、または湿度、温度変化の激しい場所
●砂、ほこり、ちりの多い場所
●振動の激しいところ
●防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品などに長時間接触するところ
●強い磁場の発生するところ（モニター、トランス磁石のそばなど）

故障かなと思う前に

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、リコー修理受付センターにお問い合わせください。

■電源について

症　状	原　因	処　置	参照頁
電源が入らない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。	P.21 P.22
	ACアダプターが正しく接続されていない。	正しく接続し直す。	P.24
	カードカバーが開いている。	カードカバーを閉じてから、電源を再投入する。	P.39
電源が途中で切れる。	何の操作もしないで放置したので、オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.39
	バッテリーが消耗している。	充電する。	P.21
バッテリーを充電できない。	バッテリーの寿命。	新しいバッテリーと交換する。	P.22
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところや高いところで使用している。	—	P.23
	暗い屋内などの撮影で、フラッシュ発光回数が多い。	—	—

■撮影・再生について

症　状	原　因	処　置	参照頁
シャッターボタンを押しても撮影できない。	バッテリーがセットされていない。または消耗している。	バッテリーを正しくセットする。または充電する。	P.21 P.22
	電源が入っていない。または撮影モードになっていない。	電源を入れ、モードダイヤルを撮影モードに合わせる。	P.39
	シャッターボタンを押し切っていない（半押し状態）。	シャッターボタンを押し切る。	P.44
	スマートメディアがフォーマットされていない。	スマートメディアをフォーマットする。	P.94
	スマートメディアに空き容量がない。	不要なファイルを削除するか、新しいスマートメディアをセットする。	P.26 P.88
	内蔵メモリーに空き容量がない。	不要なファイルを削除する。	P.88
	スマートメディアの寿命。	新しいスマートメディアをセットする。	P.26
	カードカバーが開いている。	カードカバーをしっかり閉じる。	P.26
	セルフタイマー撮影になっている。	ボタンを押して、セルフタイマー撮影を解除する。	P.57
	フラッシュが充電中。	フラッシュランプの点滅が終了するまで待つ。	P.44
	スマートメディアの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。	P.25
撮影画像を確認できない。	画像確認時間が短い。	画像確認時間を長くする。	P.96
液晶モニターに映らない。	電源が入っていない。または液晶モニターが暗い。	電源を入れ、液晶モニターを開く。またはLCD LIGHTボタンで液晶モニターの明るさを調節する。	P.36 P.39
	ビデオ方式がPAL設定で、ビデオケーブルをさした状態になっている。	ビデオ方式をNTSCに設定するか、ビデオケーブルを抜く。	P.72 P.99

症　状	原　因	処　置	参照頁
オートフォーカスなのにピントが合わない。	レンズ、AFファインダー窓が汚れている。	レンズ、ファインダー窓をきれいにする。	—
	被写体が撮影範囲枠の中央にない。	フォーカスロックで撮影する。	P.59
	ピントの合いにくい被写体である。	フォーカスロック、またはマニュアルフォーカスで撮影する。	P.59 P.60
フラッシュが発光しない。またはフラッシュの充電ができない。	撮影モードが(音声)、(連写)、(動画)になっている。	モードダイヤルを(静止画)または(文字)に切り替える。	P.39 P.47
	フラッシュが(発光禁止)になっている。	ボタンを押して発光禁止を解除する。	P.51
	マクロモードになっている。	ボタンを押してマクロモードを解除する。	P.58
	ホワイトバランスモードがオートモード以外になっている。	**WB**ボタンを押して、ホワイトバランスをオートモードに切り替える。	P.55
	バッテリーが消耗している。	充電する。	P.21
フラッシュが発光したのに画像が暗い。	被写体までの距離が約2.5m以上離れている。	被写体に近づいて撮影する。	P.51
画像が明るすぎる。	被写体までの距離が近すぎる。	フラッシュを発光禁止にする。	P.51
	露出がオーバーしている。	記録メニューで露出補正を行う。	P.54
	輝度調整がおかしい。	**LCD LIGHT**ボタンを押して、液晶モニターの明るさを調節する。	P.36
画像が暗すぎる。	暗いところを(発光禁止)で撮影している。	ボタンを押して発光禁止を解除する。	P.51
	露出が不足している。	ボタンを押して露出を補正する。	P.54
	輝度調整がおかしい。	**LCD LIGHT**ボタンを押して、液晶モニターの明るさを調節する。	P.36
画像が自然な色合いにならない。	オートホワイトバランスの調整しにくい状況で撮影した。	被写体に白色系のものを入れて撮影する。またはフラッシュ撮影やオートモード以外のホワイトバランスを使用する。	P.51 P.55
日付などの記録情報が表示されない。	画面表示の機能で、表示なしになっている。	**DISPLAY**ボタンを押して表示を切り替える。	P.45 P.76
再生できない。または再生画面が出ない。	▶(再生)になっていない。	モードダイヤルを▶(再生)に合わせる。	P.74
	再生元が違う。	CARD/IN ボタンを押して、再生元を切り替える。	P.74
	スマートメディアがセットされていない。または画像が記録されていないスマートメディアをセットした。	記録済みのスマートメディアをセットする。	P.26
	本機でフォーマットしていないスマートメディアを再生した。	本機でフォーマットし、記録したスマートメディアをセットする。	P.26
	正常に記録されていないスマートメディアを再生した。	正常に記録されているスマートメディアをセットする。	P.26
	本機で再生できない形式のファイルが記録されている。	ファイル形式を確認する。	P.72
	カードカバーが開いている。	カードカバーをしっかり閉じる。	P.26
	AV接続ケーブルが正しく接続されていない。	正しく接続する。	P.72
	モーターなどの雑音源が近くにある。	雑音を発生させている機器から離す。	—
	スマートメディアの接触面が汚れている。	乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。	P.25
きれいに再生できない。	カメラ本体の内蔵メモリーに異常がある。	内蔵メモリー内の必要なファイルをスマートメディアにコピーし、内蔵メモリーをフォーマットする。	P.80 P.94
	使用中のスマートメディアに異常がある。	記録済みの別のスマートメディアを再生し、異常がなければカメラは正常です。スマートメディアに異常が考えられるため、そのカードを使用しないでください。	—

症　状	原　因	処　置	参照頁
画像が消えた。	バッテリーが消耗している。	充電する。	P.21
	オートパワーオフが働いた。	電源を再投入する。	P.39
リモコン（別売り）が働かない。	カメラのリモコン受信部とリモコンの送信部の間に障害物がある。	障害物を取り除く。 ＊リモコン受信部は、液晶モニター左上にあります。	―
	リモコン受信部または送信部が汚れている。	きれいにする。	―
	リモコンのリチウム電池が消耗している。	新しいリチウム電池（CR2032）に交換する。	―
AF動作中、モニターの明るさが変化する。	オートフォーカス範囲と周囲の明るさが異なるとき、または暗い所。	故障ではありません。	―
縦に尾を引いた画像になる。	明るい被写体を写したときに起こる現象。スミア現象という。	故障ではありません。	―

■その他

症　状	原　因	処　置	参照頁
スマートメディアが入らない。	指定以外のスマートメディアをセットしようとしている。	指定のスマートメディアをセットする。	P.26
	スマートメディアの挿入方向が違う。	正しくセットする。	P.26
カメラのボタンやスイッチを操作しても作動しない。	バッテリーが消耗している。	充電する	P.21
	カメラの誤作動。	一度電源を切り、電源を再投入して（静止画）または（文字）に切り替える。 それでも作動しない場合はリセットします。 1.カメラ本体のバッテリーを一度取り外し、電源をオンにしてから再度セットする。 2.再び操作する。	―
日付が正しくない。	正しい日付・時刻がセットされていない。	正しい日付・時刻をセットする。	P.32
セットした日付が消えてしまった。	バッテリーを抜いてしまった。	バッテリーを取り外してから約1カ月経過すると、日付がリセットされます。再度、設定してください。	P.32
ファイルを消去できない。または、スマートメディアのフォーマットができない。	消去メニューが表示されていない。	モードダイヤルを（再生）に合わせ、ボタンを押す。	P.88
	スマートメディアにライトプロテクトシールが貼られている。	ライトプロテクトシールをはがす。	P.25
	プロテクトが設定されている。	再生メニューでプロテクトを解除する。	P.82
	電源を切った。またはオートパワーオフが働いた。	もう一度モードを設定する。	P.94
設定してあるモードが変わってしまった。	バッテリーを抜いてしまった。	もう一度モードを設定する。	P.94
オートパワーオフが働かない。ブザー音が鳴らない。	オートパワーオフがOFFになっている。	設定を解除する。	P.96
	ACアダプターを使用している（ACアダプター使用時は、オートパワーオフは働きません）。	―	―
	消音が設定されている。	設定メニューでブザー音の設定をONにする。	P.97
テレビに映らない。	テレビ方式の設定が間違っている。	正しいテレビ方式を設定する。	P.99
	出力先のビデオ入出力スイッチの設定が間違っている。	出力先のビデオ入出力スイッチが正しいか確認する。	―

付録

海外旅行にお持ちになる方へ

別売りのACアダプター（型名：AC-3）について

・交流100V、50Hz/60Hzの地域でご使用になれます。
・電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントにあった変換アダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねのうえ、ご用意ください。

保証書について

・このデジタルカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。
・外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

再生等で現地のテレビを使用する場合

・映像入力端子付きのテレビ（またはモニター）で再生することができます。付属のビデオ接続ケーブルをご使用ください。
・本機では、テレビ方式はNTSCとPALに対応しています。現地のテレビ環境にあわせて、カメラのビデオ方式を切り替えてご使用ください。→P.99「ビデオ方式を変更する」
・海外へお出かけの際は、テレビ方式をご確認の上、ご使用ください。

アフターサービスについて

1．本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満１年間無料修理いたしますので、お買い上げの販売店かリコー修理受付センターにお申し出ください。なお、リコー修理受付センターにご持参いただくに際しての諸費用はお客様にご負担願います。

2．つぎの場合は上記保証期間内でも無料修理の対象にはなりません。

① 使用説明書に記載されている使用方法と異なる使用による故障。

② 使用説明書に記載されている当社指定の修理取り扱い所以外で行われた修理、改造、分解掃除等による故障。

③ 火災、天災、地変等による故障。

④ 保管上の不備（高温多湿や防虫剤の入った場所での保管、電池等の液漏等、カビ発生等）による故障。

⑤ 浸（冠）水、飲物（ジュース、酒類等）かぶり、砂（泥）入り、ショック、落下等による故障。

3．ご購入日から満１年間経過した後は、本製品に関する修理は有償修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましては、お客様のご負担とさせていただきます。

4．保証書の添付のない場合や、販売店名、ご購入年月日の記入がない場合ならびに記載事項を訂正された場合には、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

5．保証期間内であっても、本製品について各部点検、精密検査等を特別に依頼された場合には、別途実費をお客様にご負担いただきます。

6．保証の対象となる部分は本体のみでケース、ストラップ等の付属品類および本製品に付帯している消耗品類（電池類）は保証の対象となりません。

7．無償修理期間中であると否とにかかわらず、本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および得べかりし利益の損失）等については補償いたしかねます。

8．保証書は日本国内においてのみ有効です。

＊以上の保証規定は無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＊以上の保証規定は本製品に関する保証書にも　同様の趣旨で記載されています。

9．本製品の補修用性能部品（機能、性能を維持するために不可欠な部品）は、７年を目安に保有しております。なお、期間後であっても修理可能の場合もありますので、お買い上げの販売店かリコー修理受付センターにお問い合せください。

10．浸（冠）水、砂（泥）入り、強度の衝撃、落下等で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの等は修理できない場合もあります。ご了承ください。

- 修理にお出しになる前に、バッテリーの消耗のチェックと使用説明書の再読（ご使用方法の再確認）をお願いいたします。
- 修理箇所によっては修理に日数がかかる場合もございますので、修理には余裕を持ってお出しください。
- 修理にお出しになる際は、故障内容と故障箇所をできるだけ詳しくお申し出ください。
- 修理にお出しになる際は、修理に直接関係のない付属品類は添付しないでください。
- 大事な記録（結婚式や海外旅行等）を撮影されるときには、前もってテスト撮影をしてカメラの調子をご確認くださるとともに、使用説明書や予備のバッテリーの携帯等をお勧めいたします。

主な仕様

■総合

●ビデオ信号方式	: NTSC 方式、PAL 方式
●電源電圧	: BATT 3.7V
	: 外部 5V
●外形寸法	: 135.4mm（幅）× 74.0mm（奥行き）× 26.6mm（高さ〈グリップ部除く〉）
●質量	: 本体 約 270g（バッテリー別）
●使用温度範囲	: 0° C 〜 40° C
●使用湿度範囲	: 85%以下
●保存温度範囲	: -20° C 〜 60° C

■カメラ部

●使用撮像素子	: 334 万画素（有効 324 万画素）
●レンズ	: ズームレンズ　F:2.6 〜 3.4
・焦点距離	: f:7.3 〜 21.9mm（35mm 換算 35 〜 105mm）
・最短撮影距離	: 約 24cm（広角時）
・マクロ撮影距離	: 約 1cm 〜 24cm
●ファインダー	
・タイプ	: 実像式
・倍率	: 望遠 0.81、広角 0.3
・視度補正	: 有り（-2 〜＋ 1dpt）
●モニター表示部	
・画面サイズ	: 2.0 型
・駆動方式	: TFT アクティブマトリックス方式
・画素数	: 約 20 万画素
●ホワイトバランス	: オート／固定（屋外、曇天、白熱灯、蛍光灯）
●露出調節	
・測光感度分布	: 中央重点
・露出記憶機構	: 自動逆光補正あり
	: マニュアル露出補正 ± 2.0EV（0.5EV ステップ）
・測光方式	: TTL CCD 測光式
・フラッシュＡＥ	: あり（日中シンクロ　あり）
・シャッター	: 静止画 1/4 〜 1/1000
・ISO 感度	: ISO　約 150 相当（AUTO）
●距離調節	
・AF 方式	: 通常撮影領域;外部パッシブ･CCD方式、マクロ領域;CCD方式
・AF 測距範囲	: 通常撮影領域;約 24cm 〜∞、マクロ領域;1 〜 24cm
●内蔵フラッシュ	
・方式	: オート
・撮影距離	: 約 0.6m 〜 2.5m
・動作モード	: 発光禁止 / 強制発光 /AUTO/ スローシンクロ / 赤目

■**画像データ録再部**

●**画素数**

・**静止画**	：2048×1536、1024×768、640×480、3072×2304（PRO）
・**文字**	：2048×1536、1024×768、640×480、3072×2304（PRO）
・**動画**	：320 × 240

●**ファイルフォーマット**

・**静止画**	：圧縮;JPEG（Exif2.1）、非圧縮;TIFF
・**文字**	：TIFF（G4 MMR 方式）
・**動画**	：AVI（Open DML Motion JPEG フォーマット準拠） 15 コマ / 秒
・**音声**	：WAV（Exif2.1）

●**カメラファイルシステム規格**	：DCF ※ DCF は JEIDA で標準化された『（Desigin rule for Camera File system）』規格の略称です。
●**圧縮方式**	：JPEG ベースライン方式準拠

●**画像サイズ**

・**2048 × 1536**	：F;約 1.12MB/ 画面、N;約 568KB/ 画面、E;約 280KB/ 画面、NC;約 6MB/ 画面
・**1024 × 768**	：F;約 376KB/ 画面、N;約 184KB/ 画面、E;約 88KB/ 画面、NC;約 1.5MB/ 画面
・**640 × 480**	：F;約 152KB/ 画面、N;約 72KB/ 画面、E;約 40KB/ 画面、NC;約 640MB/ 画面
・**3072 × 2304（PRO）**	：F;約 2.53MB/ 画面、N;約 1.26MB/ 画面、E;約 648KB/ 画面、NC;約 13.5MB/ 画面

■**入出力端子**

●**電源入力**	：5V（AC アダプター）
●**ビデオ出力**	：1.0 Vp-p （75 Ω）
● **RS-232C/AUX/USB**	：専用

■**ボディー**

●**三脚ネジ**	：あり （1/4-20UNC） ：長さ 6.0mm 以下

■**電源**

●**本体バッテリー**

・**電池種類**	：充電式リチウムイオン電池
・**電圧**	：3.7V（1 本）

■**デート保持時間**	：約 1 カ月
■**オートパワーオフ**	：OFF/ 約 1、3、5 分以上未使用時

■**内蔵メモリー**

・**容量**	：８ MB

■**記録再生可能なメモリカードの種類**

●**メモリ種類**	：スマートメディア
・**容量**	：2MB、4MB、8MB、16MB、32MB、64MB
・**動作電圧**	：3.3V

記録枚数について

スマートメディアの容量別、画質/サイズ別の記録可能枚数の目安は、次のとおりです。

			2MB	4MB	8MB	16MB	32MB	64MB
静止画（枚）	PRO	F	0	1	3	6	12	24
		N	1	3	6	12	24	48
		E	3	6	12	24	48	97
		NC	0	0	0	1	2	4
	2048	F	1	3	6	13	27	54
		N	3	6	13	26	53	107
		E	6	13	26	42	105	210
		NC	0	0	1	2	5	10
	1024	F	5	10	20	39	79	159
		N	9	19	39	76	153	307
		E	19	38	76	142	285	570
		NC	1	2	5	10	20	40
	640	F	12	24	49	99	199	399
		N	23	45	90	166	332	665
		E	41	82	165	332	665	1331
		NC	3	6	12	24	49	99
文字（枚）	PRO		3	6	12	24	48	97
	2048		6	13	26	52	105	210
	1024		19	38	76	142	285	570
動画（秒）			10	20	41	82	166	332
音声（秒）			252	505	1017	2037	4085	8179

＊サイズ（画素数）は次のとおりです。

PRO ：3072×2304画素
2048 ：2048×1536画素
1024 ：1024×768画素
640 ：640×480画素

＊画質（圧縮率）は次のとおりです。

F ：ファイン
N ：ノーマル
E ：エコノミー
NC ：非圧縮

＊表内の単位は次のとおりです。

静止画ファイル/文字ファイルは、枚数を表します。
動画ファイルは、秒数を表します。
音声ファイルは、秒数を表します。

補足
・文字モードは、記録可能枚数が1（1枚）と表示されていても、被写体によっては記録できない場合があります。
・内蔵メモリーは8MBのスマートメディアと同じです。

付録

リコー修理受付センター

リコー修理受付センター

0120 FreeDial **0120-053956**

●受付時間：月曜日～金曜日　9：00～17：00
（土、日、祝日を除く）
●取扱商品：イメージキャプチャリングデバイス（本製品）

万一、本製品がご使用中に故障した場合は、下記のサービスメニューからお客様がご希望のサービス方法をお選びいただき、記載されている修理受付センターまでお申し込みください。

＊本製品の保証書に記載された保障期間内は、無料修理となりますが、保証書裏面の保障規定第２項の記載に該当する場合は、保障の対象にはなりません。
＊各サービスメニューの対象は、製品本体のみとさせていただきます。
＊本サービスは、日本国内のみ有効です。

（1）たくはいサービス　－着払い宅配便にてお送りいただくサービスです。

リコー修理受付センターにお電話でお申し込みいただきますと、その日の内に梱包材料および送り先を印刷した着払い伝票をお送りします。

（2）ひきとりサービス　－訪問、お預かりサービスです。

リコー修理受付センターにお電話でお申し込みいただきますと、運送業者がお客様のご自宅（事務所）に訪問し、本製品を梱包してお預かりします。

（3）こうかんサービス　－同一機種との訪問、交換サービスです。

本サービスは、本製品を連続してご使用になっていて、修理のためにお預かりできないお客様に最適です。リコー修理受付センターにお電話でお申し込みいただきますと、お使いの機種と同じ機種を運送業者が持参し、交換します。
＊本サービスは、保証書記載の保障期間終了後に有効になります。

（4）もちこみサービス　－サービスステーションへご持参していただくサービスです。

お買い上げの販売店、または製品に同梱されている『リコー製品サービス相談窓口』に記載されている最寄りのサービスステーションにお持ちいただいた場合でも修理を受付いたします。修理期間、料金は、お持ちいただいた際にお尋ねください。

時間帯指定サービス

（1）～（3）までの各サービスで、修理完成品の配達日の時間帯指定ができます。時間帯は10：00～20：00までの間で、時間帯区切りは2時間です。

①10：00～12：00　②12：00～14：00　③14：00～16：00
④16：00～18：00　⑤18：00～20：00

＊リコー修理受付センターへご連絡の際、お申し込みください。

リコーお客様相談室

電話番号をかけ間違えないようにご注意ください。

お客様相談室

弊社製品に関する要望、その他お困りの点がございましたら、「お客様相談室」にご連絡ください。

0120-000475
FAX 0120-479417

●この電話は東京都港区のリコー本社でお受けいたします。
●受付時間：９～17時（土、日、祝日を除く）

インターネット／パソコン通信でもデジタルカメラの情報提供やご質問をお受けしています。

■インターネット
http://www.ricoh.co.jp/dc/index.html

■ @nifty ／リコーファンフォーラム
GO FRICOH

■札幌支店	札幌市北区北七条西4丁目12番地（ニッセイMKビル）〒060-0807	☎ 011（700）5551
■仙台支店	仙台市宮城野区榴岡3-7-35（安田火災仙台ビル）〒983-0852	☎ 022（292）2025
■関東支店	大宮市仲町2-60（仲町川鍋ビル）〒330-0845	☎ 048（645）1011
■東京支店	東京都中央区銀座6-14-6（リコー三愛ビル）〒104-8155	☎ 03（3543）5111
■名古屋支店	名古屋市中区丸の内2-20-19（名古屋東京海上ビル）〒460-0002	☎ 052（201）8211
■大阪支店	吹田市江の木町34-5（リコービル）〒564-0053	☎ 06（6337）1161
■広島支店	広島市中区東平塚町4-21（リコー三愛ビル）〒730-0025	☎ 082（243）2101
■福岡支店	福岡市博多区博多駅東2-1-1（福岡リコー近鉄ビル）〒812-0013	☎ 092（441）8731
■ＭＡ事業部	東京都中央区銀座6-14-6（リコー三愛ビル）〒104-8155	☎ 03（3543）5111